

第1章 阿蘇山——火山学者漱石誕生!?

- 落ちこぼれ学生 29
- 火山学とはじめ 32
- 軽石にやどる小宇宙 34
- 小野スクールに入学 37
- マグマの抜けがら…阿蘇カルデラ 39
- 北海道まで飛んで行った火山灰 43
- 大昔の阿蘇は富士山より高かった? 47
- 煙をあげる中央火口丘 50
- 幻想的な赤熱現象 52
- 中岳火口の噴火サイクル 56
- 阿蘇火山博物館のころみ 58

コーヒーブレイク スミソニアン自然史博物館 61

第2章 富士山——美しさも期間限定?

- 歴史のなかの富士山 66
- 江戸時代の大噴火 68
- 低周波地震がおきだした 69
- 地震は噴火の前兆か? 73
- 富士山が噴火したら…… 75
- 姿をかえてきた富士山 78
- 岩なだれ 79
- 山頂に立つ 82
- 登山の医学 84
- 富士山の研究 86
- 古富士火山と小御岳火山 87

富士山に埋もれているもの	91
短い休止期にいたる富士山	92
富士山のハザード・マップ、いよいよ作成	94
山腹噴火の可能性	96
コーヒーブレイク 科学の教科書	99

### 第3章 雲仙普賢岳——自然は人知をこえている

島原大変肥後迷惑	102
山頂に溶岩ドーム出現	104
最初の火砕流が出た	106
災害発生!	108
一九八〇年…セントヘレンズ火山の大噴火	110
噴火記録のバイオニア・クラフト夫妻	112
オーガステイン島に行つてみたい……	114

なぜ災害を防ぐことができなかったか	117
独自の危機管理システム	119
リアルタイムに火山を監視する	121
専門家チームの使命	122
幻の「火山庁」	125
火山を知る	128
命名…平成新山	130
火山に穴をあける	132
フィールド・ミュージアム	134
コーヒーブレイク 映画で見る火山	136

### 第4章 有珠山——噴火予知成功!

有珠山噴火!	141
マスコミの力	142

噴火予知に成功する	144
予知に役だつ観測のいろいろ	146
二酸化炭素の危険性	150
直前予知にいとむ	152
噴火予知の五要素とは	153
マグマが入ったかどうかが問題	156
ガラス片がキーワード	159
溶岩ドームはもぐつたままか？	162
推移の予測は難しい	166
フェール・セーフという考えかた	168
オオカミ少年状態	170
ヘリコプターから噴火を見ると	173
自分の身は自分で守る	176
やつと終息宣言	177
噴火でなくすものと得るもの	178

エコ・ミュージアム 180

コーヒーフレイク 火山のナショナルトラスト運動 182

## 第5章 三宅島の七不思議

「次の噴火は二〇〇四年」のはずだった……	186
臨時火山情報から緊急火山情報へ	188
ふたたび予知成功？	189
なんと山頂が大陥没	193
いったいマグマは出たのか？	195
低温の火砕流に囲まれた	198
ついに全島避難へ	201
世界一の火山ガス放出量	203
いつまでガスはつづくのか？	205
二千五百年ぶりの噴火とは？	207

長期的な予測	210
火山学者のことばの重さ	213
コーヒートブレイク 科学のリテラシー	217

エピローグ——火山はおもしろい

科学のことば	220
科学者の文章	221
文章読本	223
論文の名文	225
科学文学	227
研究と啓発	229
レポートとエピソード	233
火山はおもしろい	234
最後にお礼を……	236

火山の本の紹介 238

用語の索引 240